いわき民報

發行所　いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人 印刷人　千輝克己
日刊（但月曜日を除く）
定價　一ケ月　五円　一部二十錢

道路愛護精神の涵養に

市町村單位に愛護會を結成

平土木監督所では終戰後トラツクを始め諸車の交通頻繁化して道路の破損甚しく、限られた道路人夫等の手では到底補修等が間に合はぬので、今度道路愛護精神の涵養を兼ねて、各市町村單位に青年校、國民學校その他各種團体等を中心に道路愛護會を結成、縣道を中心に各市町村道の修理、除草等を奬勵規程を設けて勸奬することに決定したこの愛護會は去る十八年各國民學校單位に結成せしめたところ當初は豫期以上の成績を示したが、その後戰爭の苛烈さに伴ひ遂に有名無實化してしまつたので、これが復活を期すると共に一層強力化せしめやうと前記の如く改組擴大したものでその成果は期待されてゐる

農村工業化

農業會工場連絡協議會

東北地區農村工業連絡協議會は十一日四倉町農業會罐詰工場に開き、縣農業會から酒井副會長三浦課長が臨席、各町村農業會の各種工場責任者を召集、工場の經營の現況報告の交換やら今後の農村の工業化に關する諸問題についての重要協議を遂げるが、殊に食糧危機突破の一助にと粉食化の叫ばれてゐる折柄、製粉工場問題についても審議檢討される豫定とあり、その成果には非常に期待されてゐる

珠算合格者

去月二十三日施行された全國第三回珠算檢定試驗合格者が發表されたが本市關係者は左の通り

二級、小沼美津子、澤渡農業會、三級、熊谷千代子、赤井村井上寶食營植田支部、鈴木愛子、內郷青年學修校、準三級、河村靜子、平商女

科目合格者、一級、小沼美津子、四科目、內田寛二、科目食營植田支部、二級、猪狩千代、四科目、勸業銀行

11…17
メトロゴールドウヰン製作
マーガレツト
エラブンイオ主演
迷へる天使
聚樂館

平局從組に更生部新設

平郵便局從業員組合では物の不足の折柄、隣人愛の精神によりこの機を突破しやうと今度新に更生部をも新設した

湯本履物商組美擧

湯本町履物商組合では外地引揚者の近況に同情、引揚者互助會員に限り定價の五分引で販賣する外、これによる總賣上高の二分を會の維持費として毎月互助會に寄附することゝし會員を感激せしめてゐる

郡青年聯絡會議發足す

郡町村長會では去る十時湯殿山に於て各町村の青年會長團長を以て石城郡青年聯絡會議を組織各町村の連絡、青年の使命遂行に必要なる事項の協議機關として發足、規約審議、幹部選任、大小麥、馬鈴薯の供出、郷土演藝各町村の現況等に就き協議した

遞信鬪爭本格化す

全遞本部へ激勵電報も發す

濱通り地區鬪爭本部を平局に設置、完全に鬪爭に入つた郵便局員は作戰委員會本部の指揮の下に一致結束、九日來各地要所〳〵のポスト其他に宣傳ポスターを貼り出すと共に映畫館で休憩時間を利用娘子軍により觀客大衆に訴へる一面各方部毎に臨時大會等を催し氣勢をあげ結束に固い決意を示してゐる尚大內磐城民主人民聯盟委員長並に長谷川縣勞組委員長は本部に來訪積極的應援を約し激勵した、又磐城部會では

全遞は飽迄要求完遂に邁進し絶對妥協する勿れ吾が支部は今や全く戰鬪狀態を完備し本部の指令を待ちつゝあり

以上の如き激勵電報を全遞本部宛に打電した、更らに十日は各方面へ〝みなさまへの訴へ〟と題し、今回の鬪爭の原因、生活の窮狀等々を詳細に述べ支援を應援する挨拶狀を一齊に發した

小名濱測候所も立つ

小名濱測候所員十六名で結成する全國氣象職員組合小名濱支部でも去月二十八日來家族一名に對し百圓の手當その他待遇改善を叫んで、全國の氣象臺と一致協力鬪爭を開始することゝなり十日地元小名濱を始め平市方面にまで、檄文その他を掲示して各方面に訴へたが大衆と密接な關係のある天氣豫報は飽迄も發表の迅速化をはかりサービスの強化をはかることに決した

供米の不足も麥類で

地方事務所代替完遂の督勵へ

石城地方事務所では十月迄に完遂せねばならぬ郡下供米不足六千石に對しては今度大麥二八、〇八八俵、又は馬鈴薯八九、八七四俵の代替により完遂させることに決定、十日來積極的に各町村へ乘り出した、七月一日現在に於ける各町村別未供出數は左の通り

泉村二八五、四俵渡邊村七七六、五俵植田七五二、五俵山田三三七、五俵上遠野一四五一、五俵飯野一〇六四、五俵夏井七八一、五俵高久四七七五俵鹿島一一、一俵小名濱一五一〇、五俵磐崎七四〇、五俵內郷二九二、五俵好間一七七、五俵永戸箕輪五八、五俵澤渡三阪六〇、一俵神谷四七二、五俵草野一九二二、五俵大浦一六三、三俵大野三七六俵上下小川四六一俵一方供出完了及超過町村は錦、勿來、入遠野、川部、田人、豐間、江名、湯本、赤井、四倉、川前、平の十二町村である

大道異變

中山青二

▼外見はどうでも良いと云ふのではない。內容が根本であるといふだけである。如何に綺麗な、衛生的な料理でも、頭の落ちるやうな甘い汁粉でも、肥桶や痰壺に入れて出されたのでは食へぬ。

▼どんな新しい布でも、越中褌として一日紐をつけたら、饅頭を包んで出す人はあるまい。

▼形式も必要だ、外見も必要だが底の高い菓子箱に、腐つつたやうなものを入れては、如何に綺麗な捧書で包み水引をかけても有難くはない。

▼嘗て草野村長さんが、東京に上る時に、この世にも珍らしい程きたない洋服を着て『これで汽車に乘ると三等車でも二等待遇だ。何故なら、みんな穢らはしいと云つて寄りつかぬから』と、得意になつて講演行脚をして居られたが、とんでもない話だと思つた。

▼それでもやれ大東亞の持導者だとか、優秀民族だと己惚れてゐるから目出度いといふか、情ないと云はうか。

▼世界の優秀民族が如何なる態度を以て歩き、如何なる姿勢をもつて食事をし、そして生活してゐるか。誰が優秀を決定するかをよく／＼考へ、全世界の人類の生活狀況を檢討して、大所高所からすべてのものを見極めてかゝらねば、文化國家建設などは口頭禪でも何でもない。全然問題にされない位ならまだしも冷笑され、排撃されてはたまらぬ。

小名濱役場の課の配置變更

小名濱町役場では廳內人事異動に絡んで各課の配置を再び變更水道部跡へ町長室を移し、農業會あとへ庶務課を、水道部を庶務課へ、工務、衛生、厚生の各課を町長が監督、舊館には長瀬助役が頑張つて配給戶籍學務、復員の各課を統率、財務課は收入役室に陣取ることに九日決定した

理事長に出縣命令

小名濱町國民健康保險組合は既報の通り事業停止を斷行、事實上の解散を行つたが、これに對し縣はこの程志賀理事長に常務理事並に事務員帶同、開設以來の收支決算書を持參出縣方を命じて來た、現在志賀理事長も三浦常務も不在のため、歸町を待つて出縣すべく目下必要書類の作成を急いでゐる

衣類金屬
書畫骨董
高價買入レ
中央會館

海草麵登場

粉食界への朗報　四倉で既に配給

食糧危機の突破策として昨今粉食問題が大きく取上げられてゐる折柄、海草の粉食化について四倉町仲町海産業古市爵平氏は研究中のところ今度見事に海草麵の製造に成功、去る三日第一回の製品を隣組を通じ一戶三百匁の割で全町に配給したところ好評を拍したので、いよ／＼自信を固め、現在は一日五千人分の製造能力しかないので今度工場及び設備の大擴張を實施し一日二萬食分の製造に乘り出すことに決定、工事を急いでゐる、右は海草の化學的處理により不消化物を除却、更らに藥品中に抽出消化し易い麵とするもので一人一食五十匁で充分とある、尚同氏は藥學專門學校出身である

各方部毎に臨時大會も

平局從組では九日執務前の午前七時半から臨時大會を開き、三浦芳勝委員長の司會の下に二百五十六名の組合員が一致結束、今次ゼネストに對する強固な決意を新にした尚午后三時からは富岡方部、午后四時からは浪江方部でも夫々臨時大會を開いたが地區本部からは市川龜岡佐竹菊地の各作戰委員、石城方部から和田鈴木、沼田、伊藤の各宣傳部委員が出張應援した

川田議長等四倉視察へ

川田縣會議長、志賀副議長並に參事會員一行十三名は四倉港灣視察の爲十三日來郡同夜は四倉に一泊十四日歸縣する

郡教組總會

石城郡教員組合總會は十一日午前八時から湯本國民學校に開き組合規約の改正並に役員の改選を行ふ

いわきす言

▼供米不足分六千石を麥又は馬鈴薯で代替へ完遂をさせやうと地方事務所が計劃、果して農家の眞情に訴へ得るかどうか

▼道路愛護會市町村單位に結成愛護精神の滋養に乘出すとある眞に機宜に適した方策、市郡民とも、道路が文化の、産業のその他凡ゆる部門の發展の基となることを考へて全幅の協力をなすべし

▼小名濱測候所も待遇改善を叫び鬪爭を開始する、お手のもの豫報でこの鬪爭結果を豫報しては如何

▼相變らずぐづついたお天氣が續く、最近の國民の氣分を表象するかのやう何とかならぬものか

化粧品　固型洗劑
甘味料　京人形
小間物　各種雜貨
お買物は皆樣の
やまよしへ
平市四丁目三四
電二六八番

工員募集
一製罐工　若干名
年齡二十歲ヨリ四十五歲迄
一鍛造工　若干名
年齡二十歲ヨリ四十五歲迄
一雜夫　二名
復員軍人 海外引揚者 特ニ歡迎
希望者ハ履歷書持參ノ事
給料其他面談
▽製作品案內▽
船舶用金物、造船船釘
油槽タンク、建築金物
內燃機並ニ諸機械器具修理
電氣並ニ酸素熔接
小名濱町字古港一九六
有限會社 福島船舶金物
社長 佐藤卯之助

御法度五十圓の垣は
各業者の響きに聽く

國を擧げて食糧危機の突破に狂奔する折柄、飲食遊興面に於いてもこの際自粛せねばならぬとあつて、十日から五十圓以上の料理、一品一皿五圓以上のもの又濟酒にしろ、紅茶にしろシロツプにしろ一本、一杯が三圓以上は許されないことになつたすべての材料が配給では幾日も續かず闇に依らねば入手出來得ぬ今日、これでは正直のところ營業は出來ないといふのが先づ僞らぬところ、さらば料理店や飲食店は何處へゆく？又この料理店と共に生きる藝妓連は今後は何處に生き場所を見出す？關係業者にとつてはこれは正に死活の大きな運命の岐路ではある、さて業者はどんな見解でゐるか聽いてみる

蛇の生殺しも同然
然し營業出來るだけ幸福？

一流料亭の談

一人五十圓と限定されると配給酒といへ一級が一本三圓二十錢、ビールは一本三圓八十錢であるから何れか一本出し、例へ藝は侍らせぬとしたところで五割の税がつくので料理はぎり／＼の勉强をしても三十圓から三十三圓見當でいつぱい、若し藝妓が入るとなると八割の税となるから、料理は二十五圓見當といつたところ、一皿、一品五圓限度と來るからそれでも五、六品はつくことになる勘定である、然し今時一品五圓の料理があるだらうか？これは配給ものでなければ到底考へられない、闇の材料を使つては一皿十圓でも引合ひかねるものすらあるのだから近頃正銘のところ御指示通りにいつたら料理店は食つてゆけぬ、こゝ言つと蛇の半殺しにあつたと同然、然し兎にも角にも營業停止でなくどうにか營業が續けられてゆくといつたところが有難いのかも知れない

今度こそは拔道なし
自滅の一途のみ

今後は藝妓をかける客の場合はその藝妓が顔を出すのを待つて

小料理店の談

料理や酒を出さねば何ともならない、うつかり客の註文通りに酒や料理なぞを直ぐ出してしまはふならば、藝妓が顔をみせたときは最早料理も酒もないといつたことになつてしまふ、酒の持込みはよいといへ、酒の配給が制限をみるのだから持ち込み酒なぞ頼んで望みがないとみるより外ない、窮すれば通ずといふが、今度こそ通ずる途もなく／＼にない、先づ早くこの危機が去つてくれぬと結局自滅するばかりである

眞正直では生きられぬ
配給で幾日續く

飲食店の談

料理店と違つて飲食店はまだよいのではないかと見る向もあるが、それは當らない、飲食店といへ税金はつくし一品、一皿五圓の品などあるものでない、それイモ類も豆類も主食料品となるので使用販賣御法度とあつては賣るものがない、酒も總らか配給になるといつても御一人一本を確く守つたところで果して幾日の營業が出來るといふのであらう、正直にやつてゐたら生きられない、テキ一皿九圓五十錢だが今後は賣ることも出來ない、先づこんな品の際は二皿五圓のものを食べて貰つたといふ形式でもとらなければ何ともならない結局失業も同樣である

姐さん方も痛手
闇育ちでも打つ手見當らず

藝妓屋側の談

二十六軒の料理店を稼ぎ場所にする新田町の姐さん達は十二軒で百十二名、終戰によつて浮んだと思ふと又ぞろこの有様、先月の事業資金等の封鎖再强化から祟られ藝妓一名一日平均十本程度の稼ぎ、税金を拂つて闇の食物で闇の着物を着ては辛いので、何とか玉代の値下げでもして打開策を講じやうかと思つてゐた矢先にこれでは手の打ちやうもない、開業休業とならねばよいが、遊ぶ方でもかう制限されたのでは藝妓どころの騷ぎでもなくなるのも無理はない、いやな御時世である

結局結果は生半可？
一般は闇に無神經

一般側の觀測は今度は相當利くことは確かである、然しそれも

一般の觀測は

一時的のことで、窮すれば通ずるで、その中いろ／＼な手が考へられると談合、昨今はどこを向いても闇だらけで闇も闇と思はない程に神經も鈍つて來てゐるから、姿商は恐も何處でどんな按配もつけ得られると思ふし、五百圓生活では何としても食へぬのに、隨分と派手に料理店や藝妓連が動いてゐるではないか、これと同じ生半可な政府が生半可の手を打つたところで大したこともあるまい

最も適切なる失業製造案
役人に一日商賣

おでん屋の談

今の時世に五圓そこらで何か食へる、飴が三本で十圓、梅の實よりもほんのちよつぴり大きい桃が三個十圓ぢやないか、配給の鰯さへ一切二圓からにつくのである、どうして五圓でやれるか、こんなことを決めたお役人に一日でも好い、買出しからすつかり一切をお貸しするからおでんやをやつてみて貰ひたい酒なんかもせい／＼三日商賣が出來るどうかの量、それも配給毎に減つてゐて、十月迄は今後配給になるかどうか分らないとあつては手がない、失業救濟どころか逆に失業製造だ、自由どころか不自由だ、これで税金まで捲上げるとはお話にならない

やらせて見度い

生活と文化

聽潮庵雜記
―主として『トラホーム』に關する覺書―
筒井榮

大正『イソップ』物語鼠の婿選びの様な話で、一見日本醫學の『トラホーム』の治療の秀でてゐる様にもとれるが、要するに『トラホーム』の治療の秀でてゐるといふ様な事は國辱とも考へられる。英米獨其他北歐諸國には以前には『トラホーム』もあつたが殆ど驅逐して了つた、政府並に國民の努力は誠に賞讃さるべきであろう。日本人が戰前南米、北米等への移民に門戶を鎖されてゐた原因の一つはトラホームの移入を嫌つた事も擧げられてゐる。私なども以前は南米移民のトラホーム治療に手を焼いた經驗がある。出發の日が迫つてゐるにかゝわらず、治療の成績は擧らぬ。實にトラホームの治療は根の續かなかつたならば不可能と謂はれてゐる。『スルファミン』が發見されていろんな病氣の治療に一時代を劃したがいまだトラホームの治療に於ては簡易な路が開かれてゐない。

先に申した様に今日トラホームの病原体は發見されてゐないが、患者の分泌物から傳染する事だけはあまねく知られてゐる多くの場合一旦傳染しても苦痛の少くない爲に醫師に治療を受けない事が多い。又或場合には急激に眼が充血し眼やにが出たりゴロ／＼するといふ急性結膜炎に似た症状を伴つて來る例もある。こはやり目と思つて放置してゐるうちに慢性となり醫師を訪れる時にはすでに立派なトラホームとなつてゐる例もある。トラホームは極めて慢性に經過する爲に根治をうける氣力を失つて了つて何時までもサカサマツゲ其他の續發症によつて永年苦しめられるといふ状況になつて來る。そしてその爲に失明状態となり又之の上に他の眼病にかゝつてトラホームのあつた爲に治すべき病も不治難治といふ有樣になつていく例が先刻述べた様に多數に上つてゐる。初期のトラホームの治療は根氣さへあれば容易である。然し私共眼科醫の數は全國的に見て少なく患者は無數といつていゝ。又一家中に多發してゐる爲に一人位治療しても再感染の恐れがある。日本からトラホームを驅逐する爲には國民がこの多くの無駄を自覺して官民ともに一致してかゝらぬ事には望み難い事であるが、文化日本の一つの資格としてトラホーム驅逐は是非とも成しとげなければならない問題である

開放

投書を歡迎す　要點批判簡潔　紙上匿名可

此頃の電話交換

▽……この頃電話の交換サービスの低下が巷の定評となつた。勿論これでよいはづはない、少くとも戰前位の圓滑さがタツタ今絕對必要だ、一体どうしてこうした不評を買つてゐるのか、

▽……一体交換手は眠つてゐるのか、工務員は仕事をサボつてゐるのか、若しそんな態度で公衆に迷惑を掛けて平然としてゐるとしたら敗戰日本の再建どころか、ハリツクものであらう

▽……然しそれはトンデモない誤解だ、お互ひに事情が判つて居れば、温い同情も湧くと云ふもの、何も神經をトンガラス必要はない

▽……そんなら局の交換の事情はどうなのか、食も金もろくに與へられず、然も社會の公僕を强ひられて、みんな寢靜つた深夜中空腹をかゝえて通信を死守してゐる十六、七才の小娘のことを考へて下さい

▽……いや／＼それどころではない、私達が最も愛する通信機材が滿足なのは一つもない、例へば加入者が呼んで、交換器のランプがついてゐても、それに應答するコードがない始末、イラ／＼乍らやつと應答出來てホツとすると今度は接點が腐蝕してゐて接觸が充分でない爲話が中途で切れて了つたり、雜音が入つたりする

▽……それにコードのカバーが全然ない爲一應答毎に全身にビリツと電流が通る、思はず取つたコードを離して了ふ、一體いつになつたら政府はそれを取替へて吳れるのか

▽……オペレーターは終戰以來二割の欠員の分までも欠勤が續いてゐると云ふのに、オカユの辨當を二つ持つて十一時間勤務や深夜作業を敢然やつてゐる、

▽……やうやく十四名の養成生徒が去る六日卒業はしたもの、一人前の仕事はとても當分見込ない状態だ、

▽……勞務者は極に疲れ、職場に堪えず交換機を去つて行つた然し乍らいつまでもこのまゝで置くわけには行かない通信が停つて了ふ危機が目前にあるからだ、明朗交換の復活を期して今こそ私達は總辭職も辭せずと立つた！今回の斗爭で或は一時御迷惑を掛けるかも知れないが勝利の曉には速くて便利な明朗交換を生むのだ私達はこの希望にのみ生きようと敢然戰を宣した

（平郵便局電話課）

富士勞組句會

靑蛙（佳作）

老鶯やあけ放ちたる谷の家　麓村

手術でゆ[illegible]庭い老を嘆く　みのる

老鶯や流暢と鳴き谷渡る　眞砂常

藥の花落ちて互に枯れ殘り　古江

背側の花につれなき雨ぞ降る　きよ子

ハーモニカのしらべしばらく短き夜

新裝 成つた
スタヂオで
皆樣をお待ち
して居ります
小名濱町本町（松ノ湯跡）
助川寫眞スタヂオ

製作設計修理
▲營業種目▲
▽…礦山機械
▽…製鹽釜
▽…電氣溶接 酸素
▽…自動車 三輪車 發生爐
▽…船舶機器
△…自動車
湯本町驛前通
タモツ鐵工所 電一二六番
タモツ自轉車部
毎度有難うございます
尚一層御引立願ひ上げます

榮養麵の
製造販賣
主食不足の時代！
海草より榮養麵の
研究に成功
一食分五十匁で澤山
御試食を乞ふ
四倉町仲町電五二の乙
榮養麵製造販賣
海産物加工業
川崎藥局
古諸壽平工場